

- ・ 市教委「いじめに関する指導の手引き」から
- ・ 自浄能力を育てる新しい学力感に立った特別活動のあり方

◎ 研究基本方針

I 研究の視点

II 研究へのアプローチ

- (1) 研究への基本的な考え方
- (2) 指導の重点化と効果的な指導の工夫
- (3) 一人一人の子どもの活動の姿を見つめ、地に着いた確かな実践

◎ 研究経過概要

小学校編

学級活動(1)

- 実践例1 「みんなで楽しくできるゲーム大会の種目を考えよう」
- 実践例2 「係がんばり発表会をしよう」
- 実践例3 「みんなの力でバスケット集会をしよう」
- 実践例4 「元気はつらつクッキング集会の計画を立てよう」

学級活動(2)

- 実践例1 「自分のよいところ」
- 実践例2 「友達への働き掛け」
- 実践例3 「泣かないでマーちゃん」
- 実践例4 「学級目標実現への取り組み」

児童会活動

- 実践例1 「大清水ウオークラリーをやろう」
- 実践例2 「みんなの願いを子どもまつりに生かそう！」
- 実践例3 「誕生日集会をしよう」

クラブ活動

- 実践例1 「クラブ活動への所属決定における指導」
実践例2 「みんなと活動する喜びを味わう指導」(ゲートボールクラブ)
実践例3 「みんなと活動する喜びを味わう指導」(コンピュータクラブ)
実践例4 「活動する楽しさを味わい互いのがんばりを認め合う指導」
(手作り絵本)

学校行事

- 実践例1 「もっと町をきれいにするために」
実践例2 「お互いの命を大切にする防災訓練」
実践例3 「みんなで作ろう学習発表会」

中学校編

学級活動

- 実践例1 「目指そう！協同して活動する学級を」
実践例2 「みんなの力を一曲に集めよう！」
実践例3 「みんなで夢を育てよう」

生徒会活動

- 実践例1 「みんなでつくり上げていく生徒会活動」
実践例2 「奉仕活動を通して温かい人間関係を育む生徒会活動」
実践例3 「仲間意識を育てる生徒会活動」

◎ 後記

委員長 渡邊 正明

- ・ いじめ・不登校の問題の解消における特別活動の役割。